



与謝野町

第7号  
平成20年2月25日

# 議会だより



**総合計画決まる**

**知遊館 駐車場用地を購入**

写真/防災の担い手、消防団  
(与謝野町消防団 出初式)

## 総合計画

# 元気に育て!



### —— 構想と計画 ——

- 一、基本構想は、10年後の将来を展望した目標にします。
- 一、基本計画は、5年間の施策方針をたてて取り組みます。
- 一、実施計画は、3年を期間とし、具体的な事業に取り組みます。

### 12月議会のおすすめ

12月定例会は、12月4日から20日の17日間の会期で開かれました。町長提出議案は、総合計画案や補正予算など19件で、原案どおり可決しました。今後の与謝野町のまちづくりの方向を決める総合計画案では12人が質疑し、今議会も、のべ46人の議員発言など、活気ある議会となりました。

一般質問は16人が町長らに今後のまちづくりなどの見解をたたしました。

なお、10月22日に、阿蘇シーサイドパーク施設整備工事の請負契約議案の臨時会が開かれ、原案どおり可決しました。

# 質疑

## 野田川駅の活用を図れ

服部博和議員

**質問** 利用者数が18年と24年比で伸びがない。

地球温暖化やKTRの経営状況から察すると、現状維持では、双方とも消滅あるのみだ。

電化と大駐車場の確保などで、利便性の向上を図り、公害の無い大量輸送できる鉄道活用を促進すべきだ。

**企画財政課長** マイカー族の増、人口減による活用の低下での現状維持は妥当。

## 現実を直視せよ

**質問** 内容が現実とあまりにもかけ離れすぎている。理想を追い求める事も必要だが、気象条件の悪さに始まって、陸の孤島、少子高齢化、就労場所不足など、負の部分をもっと直視し対応策を加えるべきではないか。

たとえば、丹後ちりめんは、負の条件を逆手に取り、一大産業化した先例があるではないか。

**企画財政課長** ちりめんの総合産地化を目指す???

## 最大の障害は国の地方財政対策では

伊藤 幸男 議員

**質問** 総合計画成否の最大の障害は、国の地方財政対策だと思うが。

**町長** その困難もあるが、町民の智恵を出し合い、柔軟に対応したい。

## 全面的情報公開が大事

**質問** 住民参画というが、自助・協力を求める前に、全面的な情報公開が大前提だと思うが。

**企画財政課長** そのように考えている。

## 地域経済の主役

**質問** まちづくりの主役である業者・農家集団が提案を出すことが重要な。

**商工観光課長** 地域貢献と協働に努力する「商助」を期待したい。



活用の望まれる野田川駅

## 総合計画の成否は「協働」で決まる

今田博文議員

**質問** 総合計画を完遂する上で住民と行政の「協働」が大きなキーポイントになる。どう進めるのか。

**町長** 協働の必要性、中味について理解していただけるよう努力したい。

## 高速道の開通も近い

**質問** 京都縦貫自動車道が与謝野町（野田川）まで開通する。観光のチャンスになる。

**商工観光課長** 観光振興ビジョン作成の中で知恵を出したい。

## 町民ニーズの反映を

**質問** 総合計画を推進していく中で、住民ニーズや時代の流れを敏感に感じとった計画づくりを。

**町長** 柔軟な対応に心がけたい。



観光のキーワード 縦貫道

# 生かすか否か町長次第

井田 義之 議員

**質問** 行革の主旨に沿った総合計画か。

**町長** 同時進行であり必ずしもそうでないが、整合を考え運営する。

**質問** 学校再配置検討委員会(仮称)の立ち上げ年度は。

**町長** 平成20年度中に。

**質問** 庁舎の統合、職員数の削減についてどのような審議がなされたのか。

**企画財政課長** 庁舎、職員ともに協議され、検討すると明示している。

**質問** 都市計画は。

**町長** 町民の意見を聞く。



林業再生で環境を守る

# 福祉の町づくり

**質問** 高齢者、障害者のネットワークとは。

**福祉課長** 高齢者と障害者を区分せずに、連携をすすめる取り組みをする。

## 林業再生で環境を守る

**質問** 林業を産業として再生させる大径木の取り組みが新しく盛り込まれた。この取り組みで、環境保全にも効果があるのではないか。

**農林課長** 下層の植生が豊かになり、土壌が発達し山の保全がはかれる。

## 地域産業での協働を

**質問** 新しく「商助」という発想が盛り込まれていることに期待をする。

企業が、福祉や環境、防災などに貢献するだけではなく、地域産業にも貢献する視点が必要では。

**商工観光課長** 産業分野

# 野村生八 議員

での商助については、まず地域の雇用確保に期待をしている。

## 環境保全の取り組み

**質問** バイオマスタウン構想とは植物資源を燃料化することだが、肥料化も入るのか。

**住民環境課長** おからの堆肥化、絹残糸の食品化なども含め、有効な資源の活用を考えている。

他 質疑者 島山・上山・小林・多田・

勢旗・廣野・赤松

## 賛成論

### 現実のものとし

### 実行することが大切

与謝野クラブ

家城 功 議員

「水・緑・空 笑顔輝くふれあいの町」を将来像に、町民の夢と希望がいつばいに詰まった大変すばらしい仕上がりと強く実感している。少子高齢化や地域雇用の確保、また厳しい財政状況など、問題や課題は膨大である。この総合計画は、少しでも現実のものにし実行できるかが重要であると考えている。今後のまちづくりにおいて、町民との「協働」のもとに、この総合計画基本構想をベースに基本計画や実施計画に有意義に、かつ着実に生かされることを大いに期待し賛成とする。

## 賛成論

### 住民参加で新しい

### まちづくりを

日本共産党

野村生八 議員

総合計画が住民参加にふさわしく、住民、職員の手作りで進められた。

新しい福祉のまちづくり、農林業の再生や循環型、地域内発型の地域経済、環境・防災・教育、誰もが安心して外出できる地域交通の確保、協働と対話、住民参加など旧町の良さを生かしながら、21世紀型の新しいまちづくりの目標が示されている。

国が、地域や住民への負担を増やす厳しい時代のなかで、住民と職員の方に依拠して、10年間の目標を据える総合計画としてすばらしい内容であり賛成をする。

# 条例

(職員給与の条例)

## 非常勤職員の処遇改善

勢旗 毅議員

**質問** 今年の人事院勧告は、8年振りに初任給を含めた給料表が改正されたが、何名の職員が対象になっているか。

**総務課長** 69名で約3割が対象になっている。

**質問** 非常勤の職員の処遇の改善についても記述されているが。

**総務課長** 20年4月から考えていきたい。

## 職員の買物も地元業者で

伊藤 幸男議員

**質問** 地元業者は厳しい深刻な事態。庁用備品も含め、職員に町内で買物をするよう要請すべきだ。

**町長** 特別な指導はしてないが、厚生会などで地元業者を利用している。

(全員賛成)



与謝にある「米の貯蔵保管施設」

(峠辺地整備計画)

## 産直のメリットを！

勢旗 毅議員

**質問** 米の貯蔵保管施設の整備により、年間を通じて一定の温度で保管できるメリットは大きい。30キロ袋でいくら保管が可能な施設か。

**農林課長** 2,100袋を貯蔵できる規模の施設。

**質問** 管理はどが行うことになるのか。

他 質疑者 廣野

(全員賛成)

(香河辺地整備計画)

## 町農道・水路を早く

有吉 正義議員

**質問** 5年間の計画が提案されている。有利な起債で辺地を整備できるので非常にいいことだと思ふ。岩屋西部辺地計画に岩屋川線のと、町道大門線、宮下農道・水路など計画に早く入れることはできないか。

辺地につきましては、当面町道岩屋川線の完成に全力を傾けるという方針。道路・水路などについては担当課と調整を図っていきたい。

他 質疑者

井田・森本

(全員賛成)

企画財政課長

岩屋西部

# 請願書

## 後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める請願書

請願事項は「後期高齢者医療制度」を中止・撤回するよう、国に意見書を出していただくこと。

提出者 全日本年金者組合京都・宮津与謝支部（支部長 羽淵吉之助）

（文教・厚生常任委員会）

付託された「後期高齢者医療制度」の中止・撤回を求める請願書は、紹介議員から説明を受け、質疑終了後、慎重に審査し採決を行った結果、賛成者少数で「不採択とすべきもの」と決定した。

### 後期高齢者の医療の確保に関する法律

（昭和57年法律第80号）

#### 「抜粋」

**第1条** この法律は、国民の高齢期における適切な医療の確保を図るため、医療費の適正化を推進するため、計画の作成及び、高齢者の医療について、前期高齢者に係る保険者間の費用負担の調整、後期高齢者に対する適切な医療の給付等を行うために必要な制度を設け、もって国民保健の向上及び

#### 「後期高齢者医療制度」

**第47条** 後期高齢者医療は、高齢者の疾病、負傷又は死亡に関して必要な給付を行なうものとする。  
**第48条** 広域連合の設立：市町村は、後期高齢者医療の事務を処理するため、都道府県の当該区域内のすべての市町村が加入する広域連合を設ける。  
**第50条** 後期高齢者医療広域連合が行う後期高齢者医療の被保険者とは、

後期高齢者医療広域連合の区域内に住所を有する75歳以上の者：  
（昭和57年制定、平成20年4月施行）

意見書を出すのに、なぜ否決なのか

伊藤 幸男 議員

**質問** 委員会では同制度の意見書を出そうとしている。なぜ同制度の請願が否決なのか。

**委員長** 中止撤回でなく、改善を求める意見書を合意している。

他 質疑者 野村  
（賛成者少数 不採択）

賛成討論

この制度は高齢者から医療を奪い取る改悪

日本共産党  
畠山 伸枝 議員

保険料は高齢者が増えたと高くなり、さらに医療費が増えれば高くなる仕組みになっている。また、受けられる医療費を定額制にし、自宅でのみとりを検討するなど、高齢者にはなるべく医療を受けさせず、終末期は病院から追い出そうとするものである。

社会の発展に力を尽くし貢献してきた人が高齢になり、病気がちになったとき、邪魔者扱いをし、医療を奪い取るような仕打ちは許せない。中止・撤廃は当然である。



# 意見書

## 後期高齢者医療制度の改善等を求める意見書

- 1) 高齢者が将来にわたり、適切公平な負担で、安心して医療を受けることができるよう、被保険者の負担軽減を図る観点から、保険料並びに自己負担のあり方について詳細な検討を行い、必要となる財源はすべて国において確実に措置をすること。  
さらに、医療費の地域格差による特例の継続を含め見直しを行うこと。
- 2) 低所得者の負担軽減を図るため、保険料の軽減判定の仕組みについても、保険料の賦課方法と整合が取れたものとなるよう改善を行うこと。
- 3) 地域や特定の診療科の医師不足を解消し、地域間の医療格差を是正するために、財政措置を含めた必要な措置を講ずること。
- 4) 後期高齢者を対象とした新たな診療報酬体系については、必要かつ十分な医療が確保できるものとなるよう配慮すること。
- 5) 後期高齢者医療制度は、国民への周知もいまだ不十分であり、国においては、施行までに対策を講じられること。

以上、上記5項目を政府に対し意見書として提出します。

他 質疑者 野村

賛成  
討論

この制度が国民に知れるにつれ、全国の老人団体や医療会、自治体から大きな批判が広がっている。福田内閣と自民・公明は一部凍結を決めているが、「こまかしに過ぎず解決にならない」「国民皆保険」の国々の中で、年齢で被保険者を切り離し、保険料と医療内容に差をつける国は一つもない。だから元厚労省幹部らも「姥捨て山・政府が皆保険をつぶす」と語っている。全面実施すれば必ず怒りが出る。本意見書では内容が不十分だが、政府に意見書を出すことが重要と考え、賛成する。

日本共産党  
伊藤 幸男 議員

欠陥だらけの本制度は中止しかない



# 陳情書

医療制度改革実施にあたっての陳情書

療養病床削減・廃止方針についての緊急陳情書

しせつ下のオンライン請求義務化に関する緊急陳情書

京都府保険医協会理事長

関 浩

福祉施設等の福祉人材確保対策の具体化と充実を求める意見書採択についての陳情書

全国福祉保育労働組合京都府本部 執行委員長

前田 鉄雄



下條村役場にて研修

## 文教・厚生委員会

〔視察報告〕

（平成19年10月17日）

長野県下條村の自立と少子化対策

出生率が下がり続ける日本で、逆に出生率の上があった下條村は、政策の転換以外で過疎の村の自立は難しく、徹底した節約と若者定着策として、集合住宅（家賃3万6千円）で入居資格は、今後、子どもが増える見込みがあり消防団に入ることが条件）を毎年1棟ずつ建て続けてきた。

10年前、村の人口は4,000人に満たなかったのが、現在は4,215人になり、国の合計特殊出生率が1.29（1人の女性が生涯に産む子どもの平均数）下條村は1.97人に伸び1割以上が移住新住民です。

役場職員を60人から37人に削減、住民サービスの低下は、自助・公助・共助への理解。

道路整備は、村がコンクリートなどの必要資材を提供して、実際の公共事業の労力は集落の住民が無料奉仕をする。

業者発注に比べ約5分の1の費用で済む。

財源の分母が小さく平地が極端に少ない村が残れたのも村長の実行力と村民の気持ちで、すべてトップの姿勢次第で意識改革ができると思う。

（平成19年10月18日）

愛知県尾張旭市の公民館活動、公共交通、WHO健康都市を伺う

公民館と生涯学習課と二課で、9力所の公民館を管理運営している。

委員長 上山光正  
副委員長 畠山伸枝

井田義之  
森本敏軌  
勢旗 毅  
服部博和

各公民館の使用料の免除及び各公民館利用者協議会に年額9万円の補助金を交付して育成助成を図り、その成果は想像を絶する質と高さを。

公共交通網の整備は市内4ルートを8往復、料金も1回乗車毎に（100円）乗り継ぎ料金として安く設定、スーパー、銀行、諸自治体から各教育、公共施設に至るまで、不自由なく移動できる環境づくりに活用している。WHO世界保健機構の将来構想は

○寝たきりにさせない町  
○外にでかけたくなる町  
○住み続けたいくなる町  
など、関連施策の連携を図り総合的な方針を示している都市を言う。

## 委員会の





## 目標に向かって、躍進する年に

議長 糸井 満雄

町民の皆様には、輝かしい平成20年の新春をご家族お揃いでお迎えることと心からお慶び申し上げます。

新しい年が町民の皆様にとって健康で明るい年でありますよう、また与謝野町にとって繁栄をもたらす素晴らしい年になりますよう、お祈り申し上げます。

昨年「与謝野町」が誕生して二年目の年でありました。少子高齢化が進み、地域間格差が生じるなど与謝野町を取り巻く大変厳しい状況の下、町民の心が一つになれる安心・安全のまちづくりを推し進めるための礎を築く年であり、12月には行政改革大綱が示され、さらに与謝野

町の今後のまちづくりの指針となります「総合計画」が策定されました。

本年は、与謝野町3年目を迎える年となりましたが、当地域では景気は一向に回復の兆しは見られない中、本町の基幹産業であります織物業、農業などの振興発展をはじめ、商工業の景気回復、さらに教育、環境、福祉、医療といった分野の充実、高齢化時代に向けての対応、情報システムの整備など課題は山積しております。

このような厳しい状況ではありますが、本年は「行政改革大綱」、「総合計画」に基づき与謝野町のまちづくりを着実に推し進めていかなけれ

ばなりません。住民と行政の協働によって目指すまちづくりに向け実践する初年度であり、目標に向かって躍進する年にしたいものです。

そのためにも私たちは、議会としての責任と役割を自覚し、行政と議会が一体となり、町民の皆様のご理解とご協力を頂きながら、今後歩むべき方向性をしっかりと見据えて、誤りのないよう全力を尽くしたいと新年にあたりその決意を新たにしているところであります。

今年一年が与謝野町民の皆様にとりまして、災害のない明るい幸多い年でありますよう、ご祈念申し上げます、念頭の挨拶と致します。



## 広報特別委員会

とき：平成19年8月21日～22日

京都市町村議会広報研修会(21日)  
愛知県・大口町議会だより(22日)

委員長 家城 功  
副委員長 畠山伸枝

上山光正  
小林庸夫  
伊藤幸男  
服部博和  
浪江郁雄

京都研修では、講師が、議会広報の基本姿勢は①行政執行部に対する議会の自主編集、②議会公開の徹底、③住民参加・住民の目線で企画編集……と語り、平易で解りやすい見出しと文書、紙面づくり、留意点などを学びました。

議会広報全国コンクールで3年連続入賞した大口町議会では、事務局と広報委員会企画編集しており、最も大事にしているのが①住民に読んでもらうために、平易な言葉でわかりやすい表現、読みやすい紙面づくりに力を入れ、大胆な工夫をし、記事の量を絞っていることなど……を学びました。

大口町は、発言議員が原稿を提出するという本町議会の方針と異なっておりますが、京都研修や大口町研修の長所を大いに取り入れ、これを生かした編集を検討していくことにしています。

# 活動報告

# 知遊館駐車場用地購入に 7200万円など

3号補正  
4996万円の減

## 補正予算（一般会計）

### 主な事業

パン工房整備事業	297万円
保育所耐震調査委託料	354万円
知遊館駐車場用地購入	7200万円
ストックヤード整備事業	250万円
明石香河線関連発掘調査	700万円
金屋工業団地造成分用地購入費	3891万円

補正予算では、知遊館駐車場用地購入のほか障害者就労施設整備（パン工房整備）などが提案され、熱心な論議となりました。  
特別会計を含め全員賛成で可決しました。

### 12月の補正予算

【単位:万円】

補正予算名	補正額	累計総額	
一般会計3号	▲4996	103億9111	
特別会計	簡易水道3号	2271	9億3917
	下水道2号	▲664	17億9703
	農業集落排水1号	7825	1億3827
	国民健康 事業勘定	1億9042	26億9449
	保険3号 診療所	622	8653
	老人保険3号	1億3976	24億1404
	水道事業1号 収益的支出	805	1億7432



購入が決まった知遊館駐車場



がんばれ! 道の駅

## 道の駅周辺 美しく整備を

小林庸夫 議員

**質問** 与謝野町の玄関口ともいえる、加悦道の駅周辺のアスファルト舗装であるが、外トイレの傷みが非常に見苦しい状況。放置自動車もあり観光客が利用されてもまた寄つてみたい気持ちがあつた。どうか、丹後・天橋立・大江山国定公園指定をきっかけに、与謝野町という名前から環境というイメージアップが必要。

**答** プのためにも整備修繕計画はあるのか。  
あわせて野田川駅トイレ整備も検討課題に加えていただきたい。  
**商工観光課長** 経費のかかることであり現在修繕計画は立てていないが、整理せねばならないことは会社も行政も認識している。もう少し時間が必要。

## 岩滝幼稚園の未整備箇所 と備品は

上山光正 議員

**質問** 冬季の暖房用給油タンク、救護用ベットの購入補正だが、施設の老朽化が進む中で、補修及び未整備箇所は他にもあるのか。  
**教育推進課長** 遊戯場の屋根、保育室の雨漏りなどがあるが、相当の額が必要であり、教育総務課の方で予算算定している。  
他に、プールの水漏れ及びシャワー設備がないのと、保育ルームに遊具が非常に少ない。  
**質問** 岩滝幼稚園は、機能的にも非常に不備な点が多く早期解消が必要。ただいま、教育長からも幼稚園と幼児保育との密接な関係も伺った。  
町長にも手厚い財政措置を願いたい。

**質問** 冬のDNA検査の経費などの補助金に關連して、安心安全な食の供給が求められるが、循環型有機農業「京の豆っこ米ブランド」を消費者が食され、良品質と判断される中で「需要に応じた米の商品化を図る」ことが可能になったのか。  
**農林課長** 加悦町当時から、自然循環型有機農業に取り組まれ、継続していく中で「京の豆っこ米」をブランド米に位置づけたことが、消費者、流通業界に浸透してきた。  
一定統一する栽培歴と肥料、農薬の使用も制限し、生産農家に示して共通認識のもとで生産しているが、農家、生産するほ場の違いはあるが、一般米の数値と比べ、美味し数値が出ている。

## 信頼される産地づくり

勢旗 毅 議員

**質問** 米のDNA鑑定を生産者がやる理由は。  
**農林課長** 種子の段階での検査で確認をしたい。  
**質問** すでに新潟県ではコシヒカリの95%がコシヒカリB1になっている。  
これはイモチ病に強い品種で農薬の散布を少なくしたいとの方針だが京都府の指導はどうか。  
**農林課長** 十分な情報を得ていない。

**質問** 耐震と未耐震との使い分けがあやふやだ。校舎は徹底を叫びながら同じ児童が通う学童施設は未耐震のまま。他の施設でも未耐震を理由に使用を認められない事があるし、また、認められる事もある。定義付けが必要では。  
**総務課長** 建設課で公共施設の洗い出しを考慮中。

**質問** 耐震と未耐震との使い分けがあやふやだ。校舎は徹底を叫びながら同じ児童が通う学童施設は未耐震のまま。他の施設でも未耐震を理由に使用を認められない事があるし、また、認められる事もある。定義付けが必要では。  
**福祉課長** 購入商品の選定ができていなかった。決まれば補正対応する予定だったが、説明してなかった。

**補正が当初より多い**  
**質問** 160万円の予算で300万円弱の補正は理解できない。  
**服部博和 議員**

## 耐震の定義はあるのか

服部博和 議員

## 油の高騰でクアハウス

### 事業は

谷口忠弘 議員

**質問** 現在の重油の価格では、収支が一段と悪化するのでは。

油を使用しており、現状では、月額で約10万円程度前年よりかなりそつだ。

**商工観光課長** 重油の高騰と、リピート客の減少で一段と厳しい状況だ。特に当施設は、多量の重

**質問** 今後の対応策は。

**商工観光課長** いろんな改善策を、運営委員会で検討していきたい。

### 休眠施設の利活用を

**質問** 滝の運動公園にある若者センターに、丹後福祉応援団が、不登校の方を対象としたフリースクールを開設したいという計画があったが、現在の状況と不登校の実態をお聞きしたい。

とふれあいサロンが主としてあるが、どのような状況であるのか。

**福祉課長** 配食サービスは資格条件に基づき実施しており、一食当り675円で利用者が3000円負担合計で975円である。ふれあいサロンは

年々各地域で活発に取り組みが進んでいると聞いている。

**教育長** 現在小中合わせて28名程おられる。教育委員会もこの事業に賛同しており、一日でも早い立ち上げを期待している。

**質問** サロンについては多くの方がボランティアとして頑張っておられる。財政的支援が必要なのは。

### 配食とふれあいサロン

**質問** 現在社協への委託事業として配食サービス

**福祉課長** 今後の取り組みを見守りたい。

## 食の安全について

浪江 郁雄 議員

**質問** 偽装表示や賞味期限の改ざんなど、食の安全が問題になっているが、**町長** 企業の姿勢が問われている。怒りを覚える。

**質問** 国では食品安全委員会が設置され、食の安全ダイヤル等が始まった。都道府県や保健所でも監視の強化や食の安全に関する意見交換会などが実施されている。消費者に一番身近な町としては何ができるか。例えば、これらの取り組みを知って頂くために、広報活動が必要なのは。

**町長** そうした方法とはとっていききたい。それから町が直接関わる給食については、地産地消、食についての教育を含めて取り組んでいる。

## 農業支援事業へ援助を

森本 敏軌 議員



町のブランド 京の豆っ子米

**質問** 安心安全な米販売の支援に補正計上されているが、支援内容は。

**農林課長** DNA検査、パンフレット、米袋の作成に支援するもので、DNA検査はコシヒカリ100%の米である、また、その種子である証明をするもの、農業法人、米生産部会など一定規約を持った団体に支援するもの。

**質問** 安心安全な米販売の支援に補正計上されているが、支援内容は。

**農林課長** 今回の支援の背景には、品目横断的経営安定対策に加入をめざす呼び水として制度ができた。一定の規約を持ってきた。一定の規約を持ってきた。経営規模20haをめざす集落営農組織、生産法人、認定農業者が対象になる。一番難しいのは経理の一元化が条件で高いハードルになる。今回の支援は4団体にトラクター、コンバイン等に1/3補助するもの。

**建設課長** 当初1億7千万円の事業費であったが、計画変更で1億円になった。さらに切下げの残土処分と擁壁の2次製品に変更や来年度工事の測量と用地買収など調整し大幅な減額となった。20年度については峠部分の切下げの切土、擁壁、舗装まで約2億円予算を要望、20年度終了時点で舗装まで完了の予定。

### 京の担い手支援事業は

**質問** この支援事業は品目横断的支援事業との関係もあり、かなりハード

**質問** 安心安全な米販売の支援に補正計上されているが、支援内容は。

**建設課長** 当初1億7千万円の事業費であったが、計画変更で1億円になった。さらに切下げの残土処分と擁壁の2次製品に変更や来年度工事の測量と用地買収など調整し大幅な減額となった。20年度については峠部分の切下げの切土、擁壁、舗装まで約2億円予算を要望、20年度終了時点で舗装まで完了の予定。

# 今年の年末年始対策は 特に重視を

伊藤 幸男 議員

**質問** 貧困と格差が広がり、町民はかつてない厳しい暮らしの中で、年末年始を迎えている。全課をあげた、配慮と親身な対応と取り組みを。

**町長** 越年を迎え大変な状況が予想されるので、職員に徹底したい。

## 予定通りか、交付税額

**質問** 国からの地方交付税は予定通りか。

**企画財政課長** 今回、人口で計算するなどの変更があり、減額された。

# 有害鳥獣対策を

有吉 正 議員

**質問** 鳥獣被害防止特別措置法が衆議院で可決され、また自衛隊の協力を得て有害獣対策をされている市町村もあると聞く。

**農林課長** まだ詳細は伝わっていないが、市町村に権限が強化された。計画をきちつと定め、猟友会、職員、一般住民の組織をこしらえる必要がある。一方自衛隊の派遣要請をできるような法令も

準備が進むデジタル化



準備が進むデジタル化

# 利用しやすい 知遊館へ充実を

野村 生八 議員

**質問** 音響や照明のスタッフの確保や、必要な機材がないなど、利用しにくい状況にある。

**教育推進課長** 不備な点があると思う。そういう利用に比べられるようにしていきたい。

# どの子も育つまちに

**質問** 学校に行けない子どもたちのために、フリースクールは絶対必要である。現状はすまぬ状況にあるのでは。

**教育推進課長** クリアすべき課題があるが、「丹後福祉応援団」と協議しながら進めて行きたい。

# 町民の負担に 格差あり

井田 義之 議員

**質問** 加悦地域においてはこの1月から地上デジタル放送の受信が可能となる。野田川・岩滝の難視聴地域の方は共同アンテナの設備改良・新設で、1/3は個人負担となる。

難視聴地域の現状と対応、設備費の概算は。 他 質疑者 廣野・今田 (賛成者多数)

**企画財政課長** 町内の難視聴地域は弓木・三河内2カ所、岩屋・上山田・



改修された 温江 山の家

# 温江の集落排水事業はじまる



改修が進む水道施設（算所）

**補正予算**  
〔特別会計〕

## 簡易水道補正(第3号)を問う

多田 正成 議員

**質問** 現在三河内の水源を求めて掘削事業を進めておられるが、今の状況はどのようなになっているのか、また、水量・水質・施設用地は確保できるのか。

**町長** 11年・12年に試掘調査

をした所が二カ所あり、水量・水質は問題ないと考え今回本掘する。一カ所は試掘した場所用地確保の了解も頂いている。もう一カ所は試掘の場所のすぐ横に町有地があり移動して本掘する。

## 下水道(第2号)年次計画の繰り上げを

井田 義之 議員

**質問** 石川上地地区の整備計画は平成24～26年となっている。香河川改修との関連で遅い計画であったが、改修も終わった。

家並みも密集しており年

次計画の見直しが必要。

**下水道課長** 基本的には従来の計画通りであるが、この地域は来年度に認可を取り、事業の進捗など勘案しその時点で考えたい。

## 国民健康保険(第3号)医療費を下げるひとつの方策

勢 旗 毅 議員

**質問** シェネリック医薬品を使うことで、国保の財政にも影響を与えると思われるが。

**保健課長** 特許が切れたことで安くなり、新薬と同じ効果があるもので、医療費全体を下げる効果は大きい。

他 質 疑 者 井 田

## 3月定例会の予定

3月 3日(月) 招 集 日

3月 11日(火)  
12日(水)  
13日(木) } 一 般 質 問

● 3月定例会は、平成20年度の予算案を中心に審議します。多くの町民の皆様の傍聴をよろしくお願ひします。



完成した配水池（幾地）

[ 質問議員と内容 ]

20年度予算へ行政改革大綱の反映は  
森本 敏軌 議員

避難所指定校の防災機能向上を  
浪江 郁雄 議員

リバースモーゲージ制度の導入を問う  
服部 博和 議員

合併2年目の予算は何が目玉か  
小林 庸夫 議員

医療型・介護型の施設不足の対策が  
多田 正成 議員

今こそ社会的弱者対策の充実を  
伊藤 幸男 議員

ちりめん街道・地域と行政の役割  
谷口 忠弘 議員

ゴミを減らして焼却中心から脱却を  
畠山 伸枝 議員

耐震補強と学校統合について  
上山 光正 議員

行政改革の目標は達成できるのか  
今田 博文 議員

阿蘇シーサイドの見直しと収益性は  
勢旗 毅 議員

観光まちづくり  
赤松 孝一 議員

消防団に携帯型 AED の配備を  
家城 功 議員

誰もが安心して暮らせる地域経済に  
野村 生八 議員

社協の移送サービスへ補助を  
有吉 正 議員

母なる川 野田川の管理と残土処分場  
井田 義之 議員

12月定例会は16人が質問しました  
ここが聞きたい



## 20年度予算へ行政改革大綱の反映は 行政改革大綱と総合計画に配慮が必要

森本 敏軌 議員

森本 全国学力  
テスト結  
果が公表された。  
いかなる結果に  
しろ学力向上に  
生かされたい。

### テスト結果を生かせ

教育長 小中とも全国平  
均を上回ってい  
る。テスト結果を踏まえ、  
分析し指導の充実に生か  
し、保護者、市民の期待  
に沿う教育を進めていき  
たい。

町長 加悦のCATVを  
全町に拡張と無線  
技術活用基盤整備の2つ

森本 地域情報ネットワ  
ーク構築の早期実  
現が待たれ、決断の時期  
が来ている。予算化され  
るか。

### 情報網整備へ決断を

の方法があり、いずれも  
良い面、問題面がある。  
よってCATV事業をイ  
ンフラ整備のカテゴリー  
として整理し、この事業  
を拡張と仮定し細部検討  
している。当初予算へは  
困難。

森本 行政改革大綱が答  
申され、平成20年  
度から毎年平均4億円の  
5年間で20億円の改革効  
果と経常収支比率を90%  
以下に下げる、2点の大  
きな改革目標が示されて  
いる。住民ニーズも多様  
ななか行政改革大綱の遂

町長 これまで以上にス  
クラップ&ビルド  
によるメリハリをつけた  
予算編成を指示している。  
精一杯努力したい。

# リバースモーゲージ制度の導入を問う 国・府の制度導入を考慮する



服部 博和 議員

## 服部 社会補償費等の負担増に加え、物価の上昇が食料品にまで及ぶ一方、年金制度は崩壊寸前の様相を呈している。

このような状況下にあつて高齢者は不安な生活を余儀なくされている。リバースモーゲージ制度は、自宅を対価に、それに見合う額を終生受給できるシステムである。

米国ではすでに一般化しており、国内でも武蔵野市を皮切りに、各都市ですでに実証済みであり、2001年には各都道府県の社協が低所得者を対象に実施している。特



家を対価に老後も安心—!?

筆すべき点は、死亡時まで自宅に住んでいられるので、生前に手放す淋しさが無い事である。また、相続人が引き取る事も可能である。

このように年金のみの収入では不安な方とか、将来空家として放置される可能性が生じる恐れのある家屋に対し、この制度の導入を勧める窓口の開設を考慮してはどうか。

## 町長 少子高齢化社会における経済活性化の起爆剤になると期待されている制度だ。しかし町独自では無理があるの

で、国や府の動向を見ながら、これらの制度を研究していきたいと考えている。

# 医療型・介護型の施設不足の対策が 第4期介護保険事業計画に基づき考える

## 多田 国は医療型、介護型病床の廃止や削減策を打ち出し医療度の低い高齢者を在宅介護へ移す考えを示しているが、当町もその対策が必要では。

止への対応を柱に総合的に考えるが、京丹後市では社会福祉法人が主体となつて整備され、当町でもそのような取り組みができればと期待する。

## 介護家族への支援強化

多田 前記に述べた国の廃止削減策に伴い、居宅介護がますます増える傾向にある。家族、特に老夫婦への支援強化が必要ではないか。

## 町長 介護が必要になつた時はまず支援センターなどに相談して頂きたいが、今後は地域見守り隊などに期待する。いずれにしても「自助、共助、公助」の融合により、安心して生き生きと暮らせる地域づくりを町民の皆さんと共に、進めていきたいと考えている。

多田 現在第3期介護保険事業計画に基づき施設を展開しており、21年〜23年度の3カ年を第4期の事業計画として策定する①介護予防の充実②地域密着型サービスの充実③リハビリ機能の強化④介護療養型施設



多田 正成 議員



まだまだ不足 福祉施設





谷口 忠弘 議員

# ちりめん街道・地域と行政の役割 町づくりは住民が主役 側面的に支援をしたい

**谷口** 地域の方が毎週寄つて、ちりめん街道の歴史、将来像について熱心に語り取り組んでおられる。しかし、今後空き家・町並み保存の問題など地域だけでは解決できない問題があるが。

**町長** 空き家については他地区の事例や取り組みを調査し、地域の人とよく相談し考えたい。また、先日高校生の素晴らしい街道への提案があり、府の地域力再生事業の活用を地域の方も検討してほしい。

## 当地区の3セクは

**谷口** 他地区で第3セクタ一の破産が起きている。経営は任せてあるが、出資者として、また、施設整備に多額の資産を投入している町の経営管理能力は。

**町長** 町ができないことを民間の発想でやっていたらいい。マネージメント、存続についても当然経営陣が考えるべき。

## プラントの今後は

**谷口** 法改正で床面積1万㎡以上の商業施設ができなくなつたが。

**谷口** 1万㎡以下でも出店抑制すべきと思うが。

**町長** 現計画は一旦取り下げられ、面積縮小で検討中だと聞いている。

**町長** それぞれの市町村の考え方があり、策定協議会で議論してほしい。

# 耐震補強と学校統合について 検討委員会を立ち上げ、町民の意見を聞く



上山 光正 議員

**上山** 昭和44年建築の加悦中学校屋内体育館は、耐震診断の結果0.09の1S値(学校建築基準は0.75が安全な基準)この数値から見ると、弱震で崩壊する危険性が高い。学校は地域の核、この1S値が崩壊を語る環境緊張感の中で、安全・快適な授業の授受が保てるのか、これは喫緊の課題。敏速に学校統合に向け地域住民から意見聴取をすべき時期がきた。

**教育長** 本校舎が0.31、第1体育館が0.09、第2体育館が0.36と1S値が低い状況である。  
●耐震補強改修工事費 約12億円。  
●建替改築工事費 約17億円。  
耐震改修工事か建替改築工事が選択肢があるが、



耐震不足の加悦中学校



勢旗 毅 議員

# 阿蘇シーサイドの見直しと収益性は 見直しを進め、産業振興に資する施設に

**勢旗** 阿蘇シーサイドパークの当初計画を町誌で知った。時代の流れでかなり計画変更されているがさらに見直しも必要で、収益性についてはどのように考えているか。

**町長** 平成11年の町民アンケートでは、自然環境施設を求める意見が多かった事で整備内容が検討されたものだが、見直しも当然必要で、町の産業振興に資するよう検討していきたい。

## 双峰公園今後の運営は

**勢旗** 国定公園の指定によって脚光を浴びる筈が双峰公園はこのままで休園し、将来廃止されるのではこの心配があるが。

**町長** レジャー施設的感觉での来園者と、大江山を楽しむ目的での来園者と二極化されている。運営委員会とも協議し、自然を楽しんでいただける方を中心に大江山ファンを増やすため、ソフトを中心に健全運営を図り、閉園は考えていない。

## 農地の取得を容易に

**勢旗** 農地を取得する場合の下限面積要件を10aにすることは、国も通達し時代が求めていると思われるが。

**農業委員会** 下限面積だけが有効なことなのか、現在のバラツキのあるところから統一したい。



家城 功 議員

# 消防団に携帯型AEDの配備を まず幼稚園や保育所に――今後も研究検討する

**家城** 最近いろんな所でAEDを目にする。

火災や災害時において、第一線で活躍していただいている消防団に携帯型AEDを配備すべきでは。

## 消防団のAED講習

**家城** 一人でも多くの方が使用できる事が望ましい。講習会の受講を。

**町長** 全団員が受講していただけるよう引き続きお願いしていきたい。

## 自転車道の防犯対策

**町長** 高額なものであり、まず幼稚園や保育所に配置したいと考えている。今のところは考えていない。

**家城** この自転車道は、町民の方の利用も多く、防犯対策の早期実現が必要である。京都府に要望すべきこと、町で取り組むべきこと、一日も早い対応を検討いただきたい。

**家城** 携帯型AEDについては、人命にかかわることもあり、費用等の問題もあるが更なる検討を望む。また、自転車道については、青い回転灯が効果があるとニュースで見た。費用を多額にかけなくても対応できることもある。対策や設置を早急に検討いただきたい。

## 町長

周囲の方や農作物にも影響があり、充分な議論を重ねる必要がある。もう少し検討したい。

**町長** 今後、もう少し研究なり検討なりしたい。

# 社協の移送サービスへ補助を 地域公共交通会議で議論

**有吉** 一律500円で社協の移送サービスが受けられたが、平成18年4月より国の法律で規制され4kmまで600円、2kmごとに200円となった。遠くて通院回数が多い方の負担は重く、一定以上の線から補助金を。



有吉 正 議員

**町長** 12月7日に第1回の与謝野町地域公共交通会議をしたところだ。この会議の中で、町内の公共交通及び福祉有償運送の確保、充実について議論していただく。

## 農振農用地の見直し

**有吉** 総合計画もできあがるなか、地域と連携し早急な対応を。府単独ほ場整備事業にのるための面積と補助率は。

**町長** 来年度、基礎調査の準備を進める。個別の案件は旧3町計画の変更として対応したい。小規模農業基盤整備事業の受益面積の要件は50a以上20ha未満で府の補助率は40%。

## 地域力再生交付金

**有吉** 1/3の自己負担がある。申請団体や内容によって、町が負担してでも進めていく事業もあるのでは。

**町長** この制度は府が1/3、府市町村振興協会が1/3であり、振興協会へは本町からも一定金額を拠出している。さらなる支援は困難。

# 避難所指定校の防災機能向上を 教育委員会や学校現場と協議し検討する



浪江 郁雄 議員

**浪江** 過去の大規模地震において、多くの学校施設が地域住民の避難所として被災者を受け入れ、地域住民に必要な情報を収集・発信するとともに、食料・生活用品等の必要物資を供給する拠点となるなど、様々な役割を果たしてきた。しかし一方では、避難所として求められる施設の耐震性やトイレ、水道、電気等の対策、更には避難住民の生活環境等の防災機能が必ずしも十分ではなく、避難生活に支障が生じていたとの報告もある。公立学校施設の防災機能の整備財源は、文部科学省の補助金のほか、内閣府や国土交通省の制度も活用できる。避難所指定校の防災機能の整備状況と防災機能向上の推進は。

も活用できる。避難所指定校の防災機能の整備状況と防災機能向上の推進は。



身近な所に安心できる避難所を

**町長** 現在、町内の公立小学校の耐震改修工事を行っており、18年度末で小・中学校の耐震化率は67・5%になる。防災機能の現状は、避難所としての特別な設備はないが、災害用資機材を備蓄しており、避難所としての機能を補っていきたい。

**浪江** 改修工事の機会に防災機能の充実を。  
**町長** 学校だけでなく、地域を含めて、町全体で考えていく必要がある。



小林 庸夫 議員

# 合併2年目の予算はなにが目玉か 住民生活に必須経費と重点施策にメリハリを

**小林** 国の財政健全化法とも相まって次年度予算は昨年に増して厳しいと思われるが、何を町民に訴えられるか。

**町長** 与謝野町総合計画審議会答申の重点プロジェクト「安心・安全」「福祉・教育」「産業振興」「行政改革」を中心に予算編成に取り組むが、予算額としては非常に厳しい数字になることを理解いただきたい。

**小林** ①他への業務委託も含めた人件費削減策は②事務事業の見直しは③休眠に等しい施設の管理運営④コンピューター関係の保守管理・設定委託料が多額の経常経費であるが適正か。

**町長** ①行政改革大綱に沿って計画的に削減を進める②平成19年度事業を見直したが更なる見直しを指示③指定管理者制度活用や売却・貸付など有効活用を検討する④複雑なシステムを安定的に稼働させるため実績あるメーカーにならざるを得ない。

## 光通信敷設計画を早く

**小林** 民間業者の敷設計画はいつになるのか不明。地域活性化のためにも光ファイバー敷設に決断を。

**町長** 多額の費用を要するところから、財政の絡みもありあらゆる角度から検討中。



# 今こそ社会的弱者対策の充実を 少ない財政の中で、住民の付託に応えたい

**伊藤** 政府の構造改革によって格差と貧困が広がる中、ワーキングプアが大問題になっている。本町は福祉と暮らしに力を入れているが、住民税非課税者が4割、国保の軽減世帯が5割、府下で所得が最下位であり、深刻な相談も寄せられている。社会的弱者への一層の対策が必要では。特に多重債務対策は重要だ。

**町長** 三位一体改革で都市と地方の格差が生まれ、社会保障費の抑制で高齢者・障害者負担が増大し、低所得層に厳しい環境だ。少ない財政だが住民の付託に応えたい。多重債務対策は国に対策本部が設置され、本町も相談窓口ができた。商工観光課でも雇用対策や消費者対策の相談窓口を検討している。

## 住宅改修助成制度を

**伊藤** 限られた予算の中、より効果的活用が重要であり、加悦町で18倍の投資効果があった住宅改修助成制度を実施すべきだ。また新しい時代にふさわしい、住民が行政に参加できるよう、地域協議会を具体化すべきでは。

**町長** 住宅改修制度は担当課に検討させている。地域協議会は、区の関係もあり、さらに検討したい。



雇用対策は緊急の課題 宮津ハローワーク



伊藤 幸男 議員



畠山 伸枝 議員

# ゴミを減らして、焼却中心から脱却を 燃やすしかない物だけに

**畠山** ゴミ処理のための町の負担は大変な金額。最終処分場もやがて満杯。ゴミを出さないことが大切。生ゴミの堆肥化はゴミをへらす決め手になると思うが。

**町長** 重要な課題だと思っ  
つが、生ゴミ処理機利用などで減量にご協力を。

**畠山** アルミ缶やペットボトル等の増加で、リサイクルをすればするほどお金がかかる。いわ

ゆる資源化貧乏にな  
っている。解決のため、国を通じてメーカー側にもコスト負担とデポジット制度を要望すべきでは。

**町長** 製品価格にデ  
ポジット（預託金）を上乗せして販売し、使用後に容器を返す制度はゴミ減量に効果があることが実証されており、要望する。

**畠山** ゴミ焼却炉は必要だが大型溶融炉は安全性・莫大な建設費など問題があると思うが。

**町長** 協議はこれからだが、ゴミ分別と資源化



家庭でできる生ゴミ処理

を進め焼却でしか処理できないゴミだけを焼却するのが基本と考えている。

**畠山** 使える物は修理して使う発想を。自転車、家具などを修理して安く売っている自治体もある。

**町長** リサイクルセンターについても検討したい。

# 行政改革の目標は達成できるのか ハードルは高いが最善の努力を傾けたい



今田 博文 議員

**今田** 時代は大きな変革期にあり、右肩下がりの時代にも持続可能なシステムに変えていく必要がある。行財政改革、分権改革を進めなければならない。行革大綱の目標年4億（5年）の削減と経常収支比率90%以下が示された。

**町長** ハードルは高いが目標達成に向け努力する。

**効率的な組織に  
今田** 分庁舎の検証や効果的な組織、体制はできるのか。

**行革のエンジンは職員  
今田** 行革の推進には、職員の資質向上と意識改革が不可欠になる。

**町長** 野田川庁舎の老朽化に対応する。北庁舎は残すが他は廃止する。地域振興課のあり方も検討する。

**町長** 非常に重要であると考えられている。丸となり取り組む。

**与謝野丸の舵取りを  
今田** これからのまちづくりにはトップマネジメントは欠かせない。

**移動町長室は  
今田** 3庁舎で業務をしている。町のトップである町長に出会い、顔も見ないので、士気に影響する。支所でも仕事をされては。

**町長** 行政改革実施項目の中で示す。

**町長** 執務は本庁で行う。今後は各庁舎、出先にもできるだけ足を運びたい。

# 観光まちづくり 観光振興ビジョンを策定



赤松 孝一 議員

**赤松** 与謝野町観光協会の活動状況と今後の展開。

**町長** 観光協会の組織の強化、町内各種行事に対する協賛や人的支援、「観光文化施設情報交換会」の開催や「語り部の会」の取り組みなどを行っている。

**赤松** 与謝野町の観光資源をどのように評価されているか。

**町長** 素晴らしい自然や景観、歴史的・文化的観光資源が数多くある。

**赤松** 観光まちづくりに必要な取り組み、注意する点。

**町長** 町民の観光に対する意識の高揚が不可欠。

**赤松** 観光まちづくり計画などの策定をするのか。

**町長** 平成20年度に観光振興ビジョンを策定する。

**赤松** 住民主導の観光施策についての所見を伺う。

**町長** 民活である観光協会が中心となり進める。可能な限り支援をする。関連団体にも観光振興事業費補助金制度を活用して支援する。



観光の拠点 旧加悦駅舎

## 誰もが安心して暮らせる地域経済に 地域内発型の地域経済をすすめる



野村 生八 議員



**野村** 大企業はバブル期の利潤を上げているが、全国の地域経済は引き続き低下している。この原因は、国民のくらしと地域に格差を広げ、福祉・医療・税など負担を増やし購買力を奪ってきた国の政策に原因がある。

このような中、地域経済再生と有効な次の施策への取り組みを求める。

「地域雇用開発促進法」  
「公契約条例」  
「中小企業振興条例」  
「小規模事業人札制度」。

国内の「地域雇用開発促進法」「中小企業地域資源活用促進法」に基づき、雇用の拡大、新商品開発・事業化に取り組む。

引き続き「公契約条例」の考え方に基つき、公共サービスの維持向上、地域の中小業者の経営安定などに取り組む。

「中小企業振興条例」の趣旨に沿って、町内企業活性化を検討する。

**町長** 町総合計画は、持続可能で地

「小規模事業人札制度」は今後研究をする。



井田 義之 議員

# 母なる川 野田川の管理と残土処分場 今後の大きな課題— 地元と協議も大事

**井田** 昭和38年に始  
まった第2次

野田川改修。

進捗状況と完成予  
定年度はいつ頃か。

また雑草が茂り、  
柳の木は橋の欄干よ  
り高いが管理の実態  
は。

上流部の改修が進  
むにつれ下流部の土  
砂堆積はますますひ  
どく、一気水の遊水  
地帯もなく、改修前  
と同等かそれ以上の

被害が心配される。残土  
捨場があれば浚渫でき  
ると聞いているが、処分場  
の計画は進んでいるか。

**町長** 本流2キロメー  
トル支流1.2キロ  
メートルが残っているが、

公共事業の抑  
制で予算も厳  
しく、完成年  
度の確定は難  
しい。

下流地域で  
土砂が堆積し  
ており、状況  
把握のため通



求められる維持管理（野田川）

水断面の測量を実施し、  
その結果に基づき浚渫や  
立木処理の対策を講じる  
と聞いている。

残土処分場はスムーズ  
な事業の推進や処分経費  
の削減を図るためにも近  
い場所であれば良い。  
町内で処分地を持つこと  
が必要と考えている。

候補地の選定は慎重に  
検討し、環境に十分配慮  
した計画を示し協議を進  
めたい。

非常に強烈的な要望をい  
ただき、今後の大きな課  
題とさせていただきます。



## 新成人 おめでとう

新たに332人の新成人が誕生

## 三河内幼稚園の紹介

本園は、旧野田川町の唯一の幼稚園として、地域の方が守り支えられてきた園です。地域や保護者の方の信頼も厚く、教育内容にもその特性を生かし、地域の教育力を取り入れた教育計画を立案し取り組みを進めています。毎年12月に開催しております作品展では、地域の方と共に子ども達の大好きな「曳山祭」を表現しました。

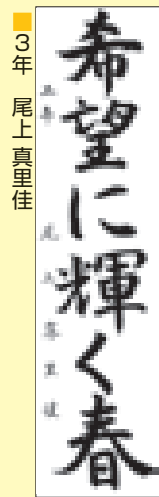


まごの宝  
子どもページ



## 加悦中学校の紹介

本校の生徒数は、現在207名。今年度は、「京の子ども、夢・未来校」の指定を受け、「互いに認め合い、学び合いながら「伝え合う生徒の育成」をテーマに、学習面を中心に教育活動全般を通して豊かな人間性の育成をめざしています。



### 編集後記

▼今年も雪は降らないのだろうか? ▼節分雪中はすでに死語になったのか? COP3京都議定書が批准されたのはすでに10年前にもなる▼この間にも米国は産業優先で見向きもしなかった。一方途上国は優遇恩典により枠外でそしらぬ顔? 環境省の試算では、今世紀末には気温が4.7度も上昇するという▼身近な問題としても、豪雨や洪水の頻発、農作物への大打撃。スキー場は閉鎖続出の事態が予測される。しかし我々はまだ実感が薄い。ガソリンも高騰が続いている。そろそろ移動手段もCO<sub>2</sub>を排出しない大量輸送可能な鉄道に見直してはどうだろうか▼そうだとKTRは私達の鉄道だったのだ!! (服部)

### 議会広報特別委員会

- 委員長 家城 功  
副委員長 畠山 伸枝  
委員 上山 光正  
小林 庸夫  
伊藤 幸男  
服部 博和  
浪江 郁雄